

JobCenter

R12.10

<テンプレートガイド>

-
- Windows 2000, Windows XP, Windows Server 2003, Windows Server 2008 および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - UNIX は、The Open Groupが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
 - Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。
 - SAP, ERP, BI は、SAP AG の商標もしくは登録商標です。
 - HP-UX は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
 - AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
 - NQSは、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
 - その他、本書に記載されているソフトウェア製品およびハードウェア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

なお、本書内では、R、TM、cの記号は省略しています。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア)は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取り下さい。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談下さい。

はじめに

本書は、JobCenter に標準添付されているジョブネットワークやスケジュールの各種テンプレートについて説明しています。なお、本書内に記載されている画面例と実際の画面とは異なることがありますので注意してください。

本書の内容は将来、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 読み方

JobCenter を新規にインストール、またはバージョンアップされる場合

→ インストールガイドを参照してください。

JobCenter を初めて利用される場合

→ クイックスタート編を目次に従いお読みください。

JobCenter の基本的な操作方法を理解したい場合

→ 基本操作ガイドを目次に従いお読みください。

環境の構築や各種機能の設定を理解したい場合





→ 環境構築ガイドを参照してください。

その他機能についてお知りになりたい場合

→ 関連マニュアルの内容をお読みいただき、目的のマニュアルを参照してください。

2. 凡例

本書内での凡例を紹介します。

		気をつけて読んでいただきたい内容です。
		本文中の補足説明
注		本文中につけた注の説明
—		UNIX版のインストール画面の説明では、__部分(下線部分)はキーボードからの入力を示します。

3. 関連マニュアル

JobCenter に関するマニュアルです。JobCenter メディア内に格納されています。

最新のマニュアルは、JobCenter 製品サイトのダウンロードのページを参照してください。

<http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/JobCenter/download.html>

資料名	概要
JobCenter インストールガイド	JobCenterを新規にインストール、またはバージョンアップする場合の方法について説明しています。
JobCenter クイックスタート編	初めてJobCenterをお使いになる方を対象に、JobCenterの基本的な機能と一通りの操作を説明しています。
JobCenter 基本操作ガイド	JobCenterの基本機能、操作方法について説明しています。
JobCenter 環境構築ガイド	JobCenterを利用するために必要な環境の構築、環境の移行や他製品との連携などの各種設定方法について説明しています。
JobCenter NQS機能利用の手引き	JobCenterの基盤であるNQSの機能をJobCenterから利用する方法について説明しています。
JobCenter インポート・エクスポート機能利用の手引き	ユーザ環境のバックアップや環境の移行の際に必要な、JobCenter上のジョブネットワーク定義、スケジュール定義およびカレンダー定義のインポート・エクスポート機能について説明しています。
JobCenter 操作・実行ログ機能利用の手引き	JobCenter CL/Winからの操作ログ、ジョブネットワーク実行ログ取得機能および設定方法について説明しています。
JobCenter テンプレートガイド	JobCenterに標準添付されている各種テンプレートの利用方法について説明しています。
JobCenter コマンドリファレンス	GUIと同様にジョブネットワークの投入、実行状況の参照などをコマンドラインから行うために、JobCenterで用意されているコマンドについて説明しています。
JobCenter クラスタ機能利用の手引き	クラスタシステムでJobCenterを操作するための連携方法について説明しています。
JobCenter Helper機能利用の手引き	Excelを用いたJobCenterの効率的な運用をサポートするJobCenter Definition Helper (定義情報のメンテナンス)、JobCenter Report Helper (帳票作成)、JobCenter Analysis Helper (性能分析)の3つの機能について説明しています。
JobCenter SAP機能利用の手引き	JobCenterをSAPと連携させるための方法について説明しています。
JobCenter UCXSingleジョブ利用ガイド	JobCenterをUCXSingleと連携させるための方法について説明しています。
JobCenter WebOTX Batch Server連携機能利用の手引き	JobCenterをWebOTX Batch Serverと連携させるための方法について説明しています。
JobCenter R12.10 リリースメモ	バージョン固有の情報を記載しています。

4. 改版履歴

版数	変更日付	項目	形式	変更内容
1	2011/08/05	新規作成	—	第1版

目次

はじめに	iii
1. 読み方	iv
2. 凡例	v
3. 関連マニュアル	vi
4. 改版履歴	vii
1. 概要	1
1.1. テンプレートの概要	2
1.1.1. テンプレートの種類	2
2. JobCenterテンプレートの導入	4
2.1. ジョブネットワーク・テンプレートのインポート	5
2.1.1. インポート手順（プラットフォーム共通）	5
2.2. スケジュール・テンプレートのインポート	10
2.2.1. インポート手順（プラットフォーム共通）	10
2.3. Japanカレンダーのインポート	14
2.3.1. JobCenter MGのプラットフォームがUNIXの場合	14
2.3.2. JobCenter MGのプラットフォームがWindowsの場合	15
3. JobCenterテンプレートの使用方法	17
3.1. ユーティリティ・テンプレート	18
3.1.1. Windowsサーバ停止	18
3.2. ERP連携テンプレート	19
3.2.1. SAP ERP	19
3.2.2. SAP BI	20
3.2.3. EXPLANNER/A	20
3.3. PP連携テンプレート	23
3.3.1. HULFT	23
3.4. ジョブネットワーク・サンプル・テンプレート	25
3.4.1. ジョブネットワーク起動	25
3.4.2. ファイル転送トリガ	25
3.4.3. ディレクトリ監視/フォルダ監視	26
3.4.4. 変数継承機能	26
3.4.5. エラーリカバリ/エラーリカバリ_多分岐	26
3.4.6. カレンダー分岐	27
3.4.7. デーモン起動/サービス起動	27
3.5. スケジュール・サンプル・テンプレート	28

目次

2.1. テンプレート導入後の画面例	4
2.2. JNWのインポートの選択	5
2.3. JNWのインポートダイアログ	6
2.4. フォルダの選択イメージ	6
2.5. マシン名の変更ダイアログの例	7
2.6. マシン名の変更ダイアログでの追加操作の例	7
2.7. マシン名の変更ダイアログでの実行操作の例	8
2.8. インポート実行中のダイアログ	8
2.9. インポート後の画面イメージ	9
2.10. サーバへの接続イメージ	10
2.11. スケジュールのインポート選択イメージ	11
2.12. スケジュールのインポートダイアログ	11
2.13. フォルダの選択イメージ	12
2.14. インポート実行中のダイアログ	12
2.15. インポート後の画面イメージ	13
2.16. インポート後の確認イメージ	15
2.17. 解凍ダイアログの例	15
2.18. インポート後の確認イメージ	16

表目次

1.1. テンプレート一覧	2
3.1. SAP ERPのテンプレート一覧	19
3.2. EXPLANNER/Aのテンプレート一覧	20
3.3. スケジュールサンプルの一覧	28

第1章 概要

JobCenterではお客様の業務構築に役立つジョブネットワーク、スケジュールのテンプレートを標準添付しています。JobCenter Mediaに格納されているテンプレートを導入してご利用いただくことにより、お客様の業務を速やかに構築することが可能です。

1.1 テンプレートの概要

1.1. テンプレートの概要

JobCenterのテンプレートは、サーバユーティリティやERP連携、PP連携など目的別に用意されたサンプルジョブネットワーク、サンプルスケジュールから構成されています。

1.1.1. テンプレートの種類

JobCenterには下記のテンプレートが標準添付されています。

表1.1 テンプレート一覧

項目	内容	説明	導入方法	説明
ユーティリティ	Windowsサーバ停止	shutdownコマンドで、サーバを停止するジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.1.1
ERP連携	SAP ERP	SAP ERPとのジョブ連携を行うジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.2.1
	SAP BI	SAP BIとのジョブ連携を行うジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.2.2
	EXPLANNER/A	EXPLANNER/Aの処理をJobCenterでバッチ化するジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.2.3
PP連携	HULFT	ファイル転送ソフトHULFTと連携し、ファイルの集信→JNW起動の連携等を行うジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.3.1
ジョブネットワーク・テンプレート	ジョブネットワーク起動	jnwsubmitcmdコマンドを使用したジョブネットワーク随時起動のサンプルです。	2.1	3.4.1
	ファイル転送トリガ	ファイル作成をトリガにしてジョブネットワークを起動するサンプルです。	2.1	3.4.2
	ディレクトリ監視 /フォルダ監視	ファイル待ち合わせ部品を使用したディレクトリorフォルダ監視ジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.4.3

概要

	変数継承機能サンプル	単位ジョブ間の変数継承機能を使用したジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.4.4
	エラーリカバリ エラーリカバリ_多分岐	単位ジョブがエラー時にリカバリ処理を行うジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.4.5
	カレンダー分岐	カレンダー分岐部品を使用したジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.4.6
	サービス起動/ デーモン起動	JobCenterからWindowsのサービス、UNIXのデーモンを起動するジョブネットワークのサンプルです。	2.1	3.4.7
スケジュール	スケジュールサンプル	お客様の業務上組み込まれることの多いスケジュールのサンプルです。	2.2	3.5
カレンダー	Japanカレンダー	ある年の日本のカレンダーです。稼働日カレンダーを作成する際の参考にしてください。	2.3	—

第2章 JobCenterテンプレートの導入

JobCenterではお客様の業務構築に役立つジョブネットワーク、スケジュールのテンプレートを標準添付しています。JobCenter Mediaに格納されているテンプレートを導入してご利用いただくことにより、お客様の業務を速やかに構築することが可能です。

本章ではJobCenterテンプレートの導入手順について説明します。

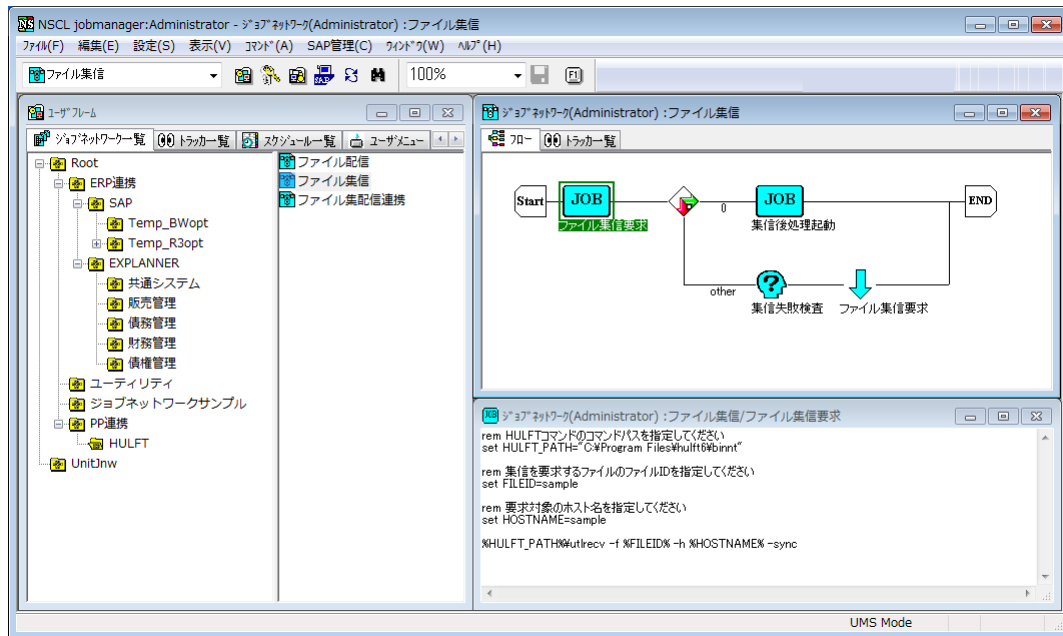


図2.1 テンプレート導入後の画面例

- 2.1 ジョブネットワーク・テンプレートのインポート
- 2.2 スケジュール・テンプレートのインポート
- 2.3 Japanカレンダーのインポート

2.1. ジョブネットワーク・テンプレートのインポート

ジョブネットワーク・テンプレートのインポート作業を行います。



以降の作業は全て、クライアントマシン上からCL/Win(GUI)を使用しての作業となります。全てのプラットフォームで共通の手順となります。

2.1.1 インポート手順（プラットフォーム共通）

2.1.1.1. インポート手順（プラットフォーム共通）

2.1.1.1.1. ファイルの配置

JobCenter Media内のテンプレートが格納されているフォルダを、クライアントPC上の任意のフォルダにコピーします。JobCenter Media内でのテンプレートの格納場所はJobCenter Mediaのリリースメモを参照して下さい。

2.1.1.1.2. メニュー選択

メニューから [ファイル] - [インポート] - [JNWのインポート] を選択します。

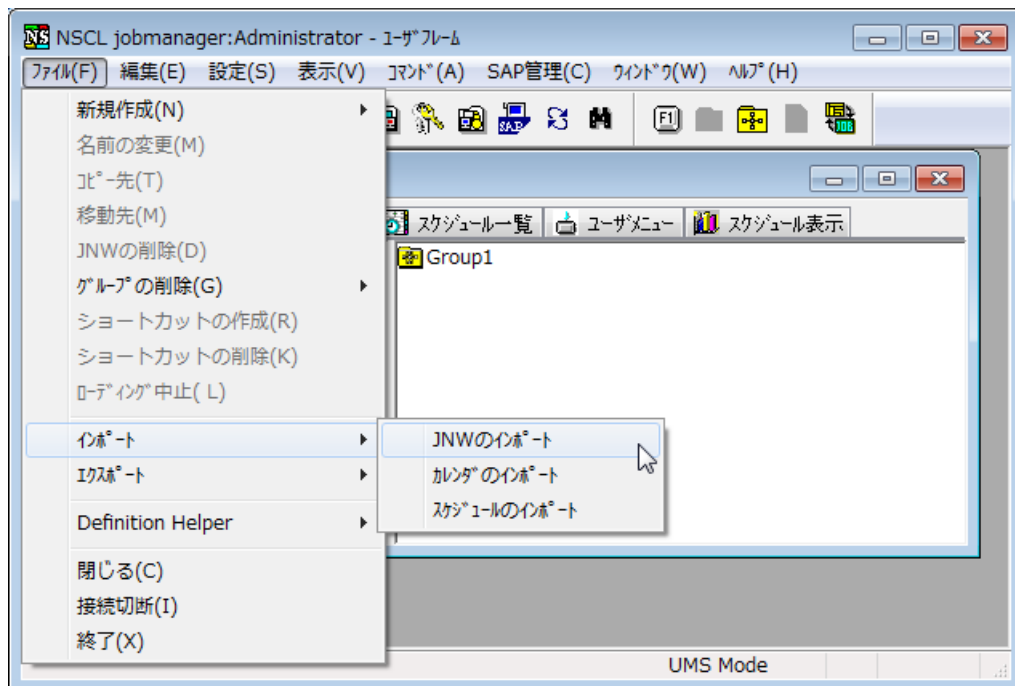


図2.2 JNWのインポートの選択

2.1.1.1.3. 対象の指定（JobCenter管理者の場合）

インポート作業を行っているユーザがJobCenter管理者の場合、下記のダイアログが表示されます。インポート対象のユーザを選択して、[OK] ボタンを押下して下さい。（一般ユーザの場合は、このダイアログは表示されません。次の手順へ進んでください。）

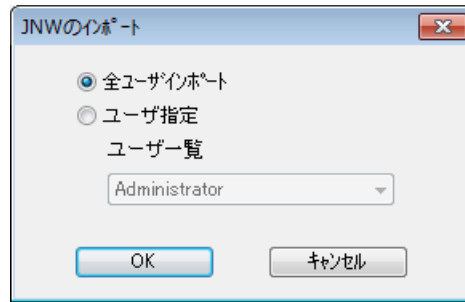


図2.3 JNWのインポートダイアログ

2.1.1.4. フォルダの選択

[フォルダの参照] ダイアログが開きますので、(1)で指定したフォルダ配下のジョブネットワーク・テンプレートのフォルダを選択し、[OK] を押下します。

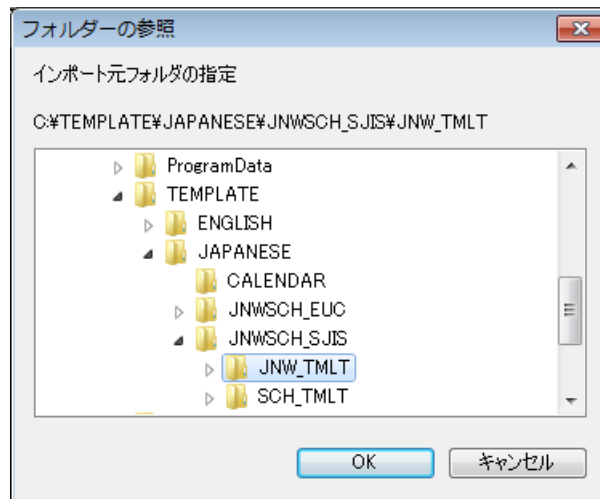


図2.4 フォルダの選択イメージ

2.1.1.5. マシン名の変更画面の表示

[マシン名の変更] ダイアログが開きます。この画面でジョブネットワーク定義に含まれるマシン名情報を移行対象のマシン名に置換するよう設定します。



図2.5 マシン名の変更ダイアログの例

2.1.1.6. マシン名の変更画面の設定

「移行元マシン名」が"TEMPLATE"、「移行先のマシン名」がインポート対象のマシン名になっていることを確認して、[追加] ボタンを押下します。



図2.6 マシン名の変更ダイアログでの追加操作の例

2.1.1.7. マシン名の変更画面の実行

変換ルールが正しく追加されたことを確認して、[実行] ボタンを押下します。



図2.7 マシン名の変更ダイアログでの実行操作の例

2.1.1.8. インポートの実行

ジョブネットワーク・テンプレートのインポートが開始されます。

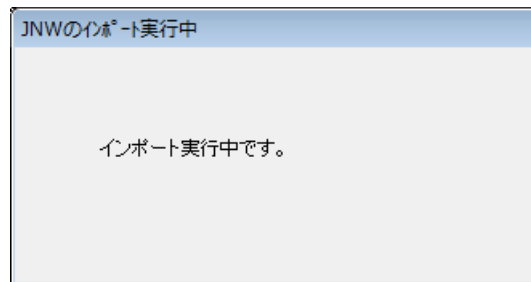


図2.8 インポート実行中のダイアログ

2.1.1.9. インポートしたジョブネットワークの確認

[ジョブネットワーク一覧] タブを開き、F5キー押下後、下記のように表示されれば、ジョブネットワーク・テンプレートのインポートは完了です。

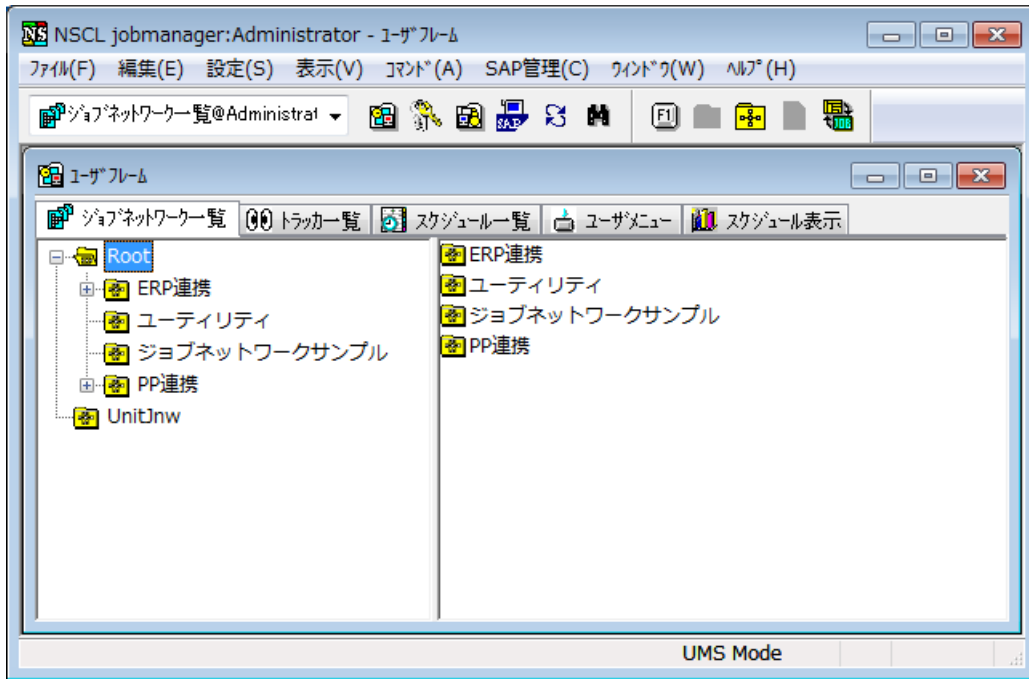


図2.9 インポート後の画面イメージ

以上で、テンプレートの導入作業は完了です。

2.2. スケジュール・テンプレートのインポート

スケジュール・テンプレートのインポート作業を行います。



以降の作業は全て、クライアントマシン上からCL/Win(GUI)を使用しての作業となります。全てのプラットフォームで共通の手順となります。

2.2.1 インポート手順（プラットフォーム共通）

2.2.1.1. インポート手順（プラットフォーム共通）

2.2.1.1.1. ファイルの配置

JobCenter Media内のテンプレートが格納されているフォルダを、クライアントPC上の任意のフォルダにコピーします。JobCenter Media内でのテンプレートの格納場所はJobCenter Mediaのリリースメモを参照して下さい。

2.2.1.1.2. CL/Winでの接続

テンプレートを導入するユーザのアカウントでCL/Winを接続します。

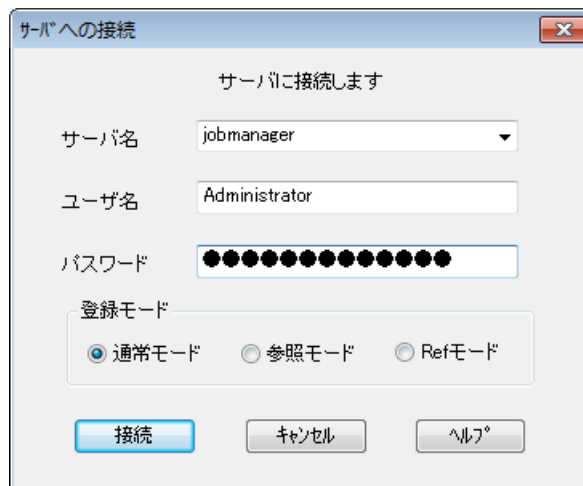


図2.10 サーバへの接続イメージ

2.2.1.1.3. メニュー選択

メニューから [ファイル] - [インポート] - [スケジュールのインポート] を選択します。

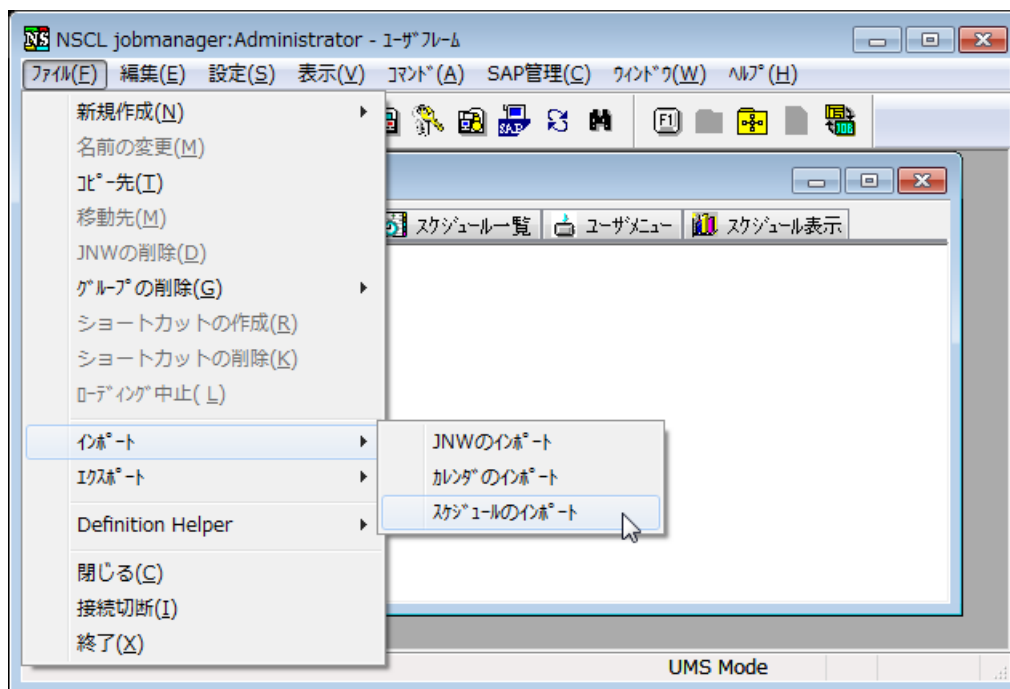


図2.11 スケジュールのインポート選択イメージ

2.2.1.4. 対象の指定（JobCenter管理者の場合）

インポート作業を行っているユーザがJobCenter管理者の場合、下記のダイアログが表示されます。インポート対象のユーザを選択して、[OK] ボタンを押下してください。（一般ユーザの場合は、このダイアログは表示されません。次の手順へ進んでください。）

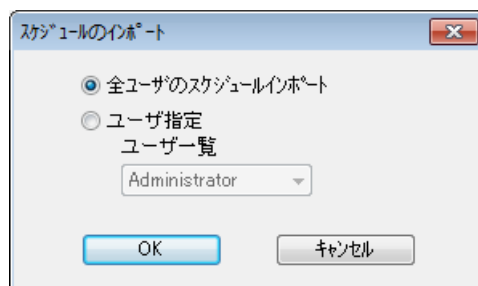


図2.12 スケジュールのインポートダイアログ

2.2.1.5. フォルダの選択

[フォルダの参照] ダイアログが開きますので、(1)で指定したフォルダ配下のスケジュール・テンプレートのフォルダを選択し、[OK] を押下します。

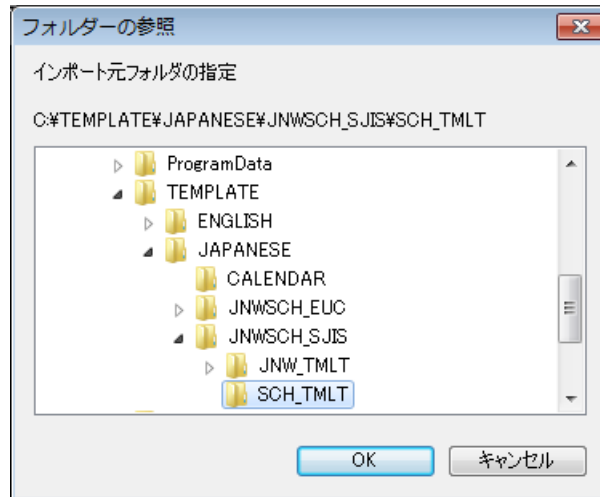


図2.13 フォルダの選択イメージ

2.2.1.6. インポートの実行

スケジュール・テンプレートのインポートが開始されます。

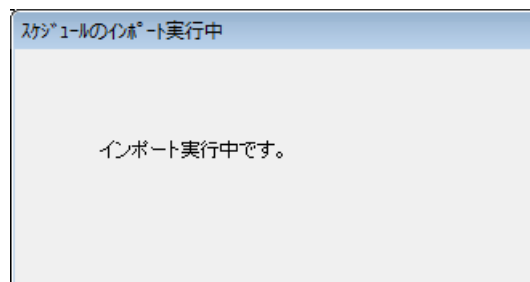


図2.14 インポート実行中のダイアログ

2.2.1.7. インポートしたスケジュールの確認

[スケジュール一覧] タブを開き、F5キー押下後、下記のように表示されれば、スケジュール・テンプレートのインポートは完了です。

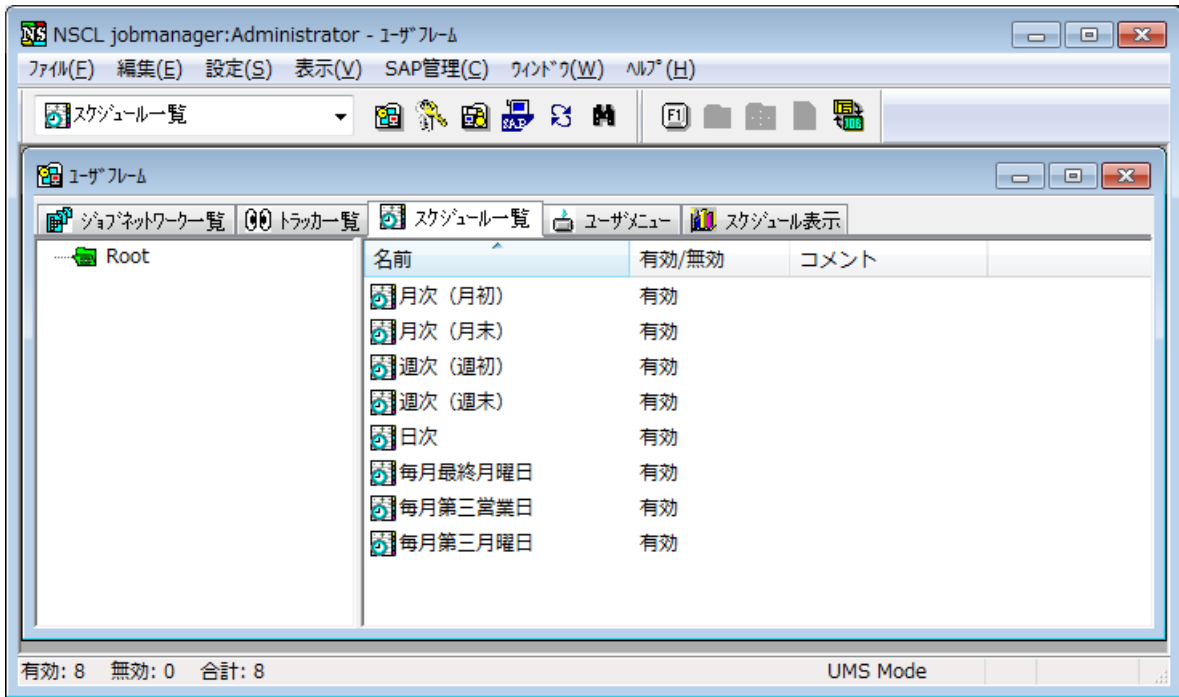


図2.15 インポート後の画面イメージ

2.3. Japanカレンダーのインポート

Japanカレンダーのインポートを行います。

カレンダーのインポートはJobCenter MGに対して行います。JobCenter MGがインストールされているサーバにログイン/ログオンして作業を行います。よって、サーバのプラットフォームによって、インポートの手順が異なります。

2.3.1 JobCenter MGのプラットフォームがUNIXの場合

2.3.2 JobCenter MGのプラットフォームがWindowsの場合

2.3.1. JobCenter MGのプラットフォームがUNIXの場合

2.3.1.1. カレンダーファイルの格納

JobCenter Mediaに格納されているUNIX版Japanカレンダーのファイルをサーバの任意のディレクトリに格納してください。JobCenter Media内でのJapanカレンダーのファイルの格納場所はJobCenter Mediaのリリースメモを参照して下さい。

2.3.1.2. カレンダーファイルの展開

サーバにroot権限でログインし、(1)で格納したJapanカレンダーのファイルを展開します。

```
# cd 格納先フォルダパス
```

```
# tar xvf カレンダーファイル名
```

解凍の結果、下記のような3つのファイルが作成されます。

```
Japan.wkcal
```

```
Japan.wkcal.r
```

```
Japan.wkcal.l
```

2.3.1.3. カレンダーファイルの配置

■上記のファイルをJobCenterシステムディレクトリにコピーして下さい。

```
# cp (解凍ディレクトリ)/Japan.wkcal* /usr/spool/nqs/gui/wkcal.d/.
```



Solarisの場合はインストールディレクトリに合わせてパスの基点を読み替えて下さい。

■クラスタ環境の場合は下記ディレクトリ配下にコピーして下さい。

```
<JobCenter DB>/nqs/gui/wkcal.d
```



JobCenter DB : 共有ディスク上のJobCenter DBパス

2.3.1.4. ファイル属性の設定

各ファイルのオーナーとグループをnsumsmgrユーザと同一の設定に変更して下さい。

```
# cd /usr/spool/nqs/gui/wkcal.d
```

```
# chown nsumsmgr Japan.wkcal*
```

```
# chgrp nsumsmgrが所属するグループ名 Japan.wkcal*
```



```
# chmod 644 Japan.wkcal*
```

2.3.1.5. カレンダーファイルの確認

CL/Winをnsumsmgr権限で接続後、「マネージャフレーム」を開き、「カレンダー一覧」タブを表示して、Japanカレンダーが表示されていることを確認して下さい。

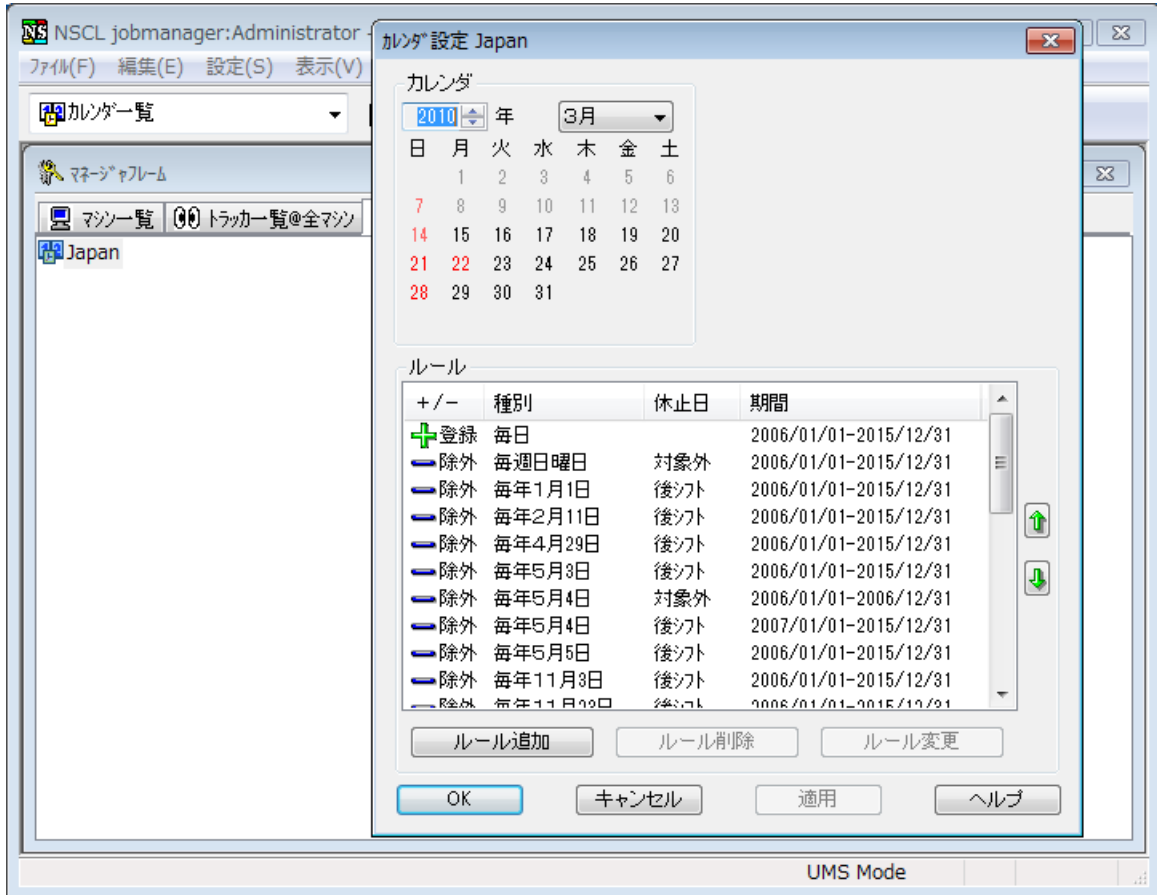


図2.16 インポート後の確認イメージ

2.3.2. JobCenter MGのプラットフォームがWindowsの場合

2.3.2.1. カレンダーファイルの格納

JobCenter Mediaに格納されているWindows版Japanカレンダーのファイルをサーバの任意のフォルダに格納してください。JobCenter Media内でのJapanカレンダーのファイルの格納場所はJobCenter Mediaのリリースメモを参照して下さい。

2.3.2.2. カレンダーファイルの展開

Administratorでログオンし、(1)で格納したJapanカレンダーのEXEファイルをダブルクリックします。ダイアログが開きますので、任意のフォルダに解凍を行ってください。

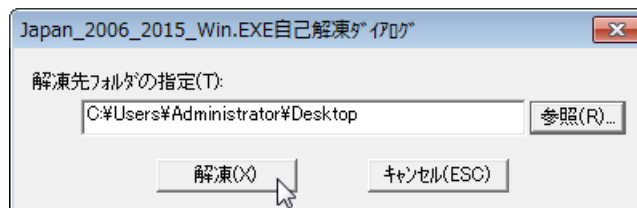


図2.17 解凍ダイアログの例

解凍の結果、下記のような3つのファイルが作成されます。

Japan.wkcal

Japan.wkcal.r

Japan.wkcal.l

2.3.2.3. カレンダーファイルの配置

上記のファイルを下記フォルダ配下にコピーして下さい。

%InstallDirectory%\spool\wkcal.d



%InstallDirectory%はJobCenterのインストールディレクトリです。
デフォルトはC:\JobCenter\SVになります。

%JobCenterDatabaseDirectory%\spool\wkcal.d



%JobCenterDatabaseDirectory%は、cjcmkstsite時に指定した共有ディスク上のデータベースディレクトリです。

2.3.2.4. カレンダーファイルの確認

CL/WinをJobCenter管理者権限で接続後、「マネージャフレーム」を開き、「カレンダー一覧」タブを表示して、Japanカレンダーが表示されていることを確認して下さい。

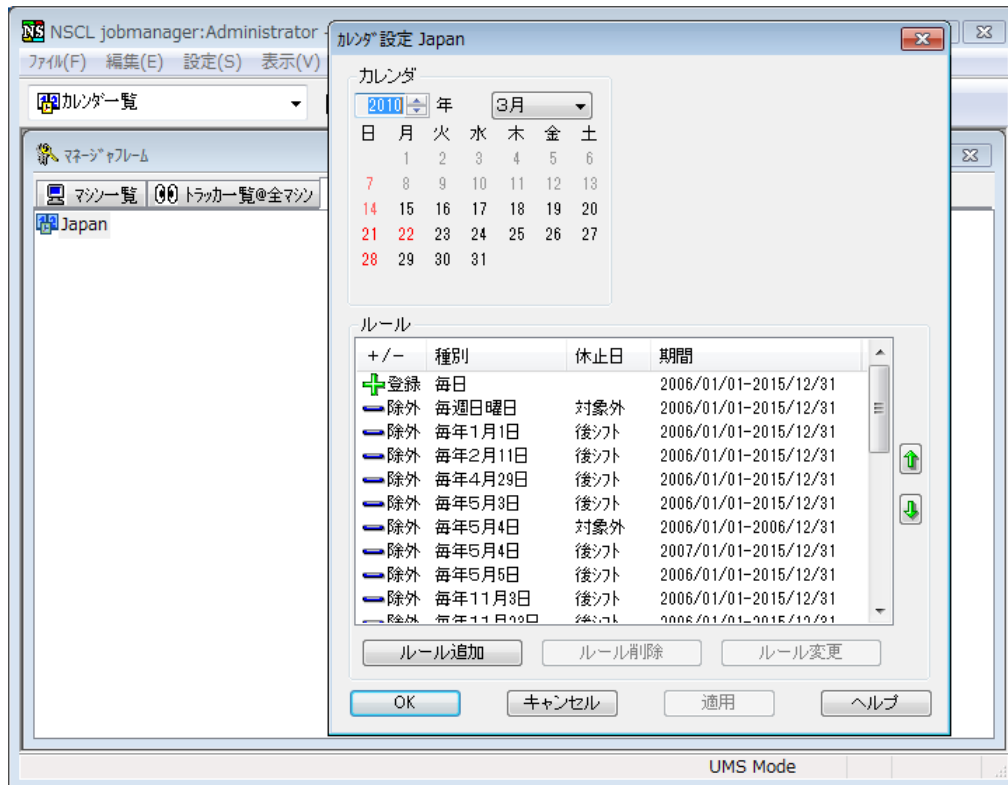


図2.18 インポート後の確認イメージ

第3章 JobCenterテンプレートの使用方法

本章では、導入された各テンプレートについての使用方法について説明します。



注意事項

- ジョブネットワーク・テンプレートは必ず任意のグループ配下にコピーし、コピーしたものをカスタマイズして使用してください。
- すべてのテンプレートはサンプルであり、実際の使用に当たっては、ジョブ・スクリプト等のカスタマイズが必要となります。必ずお客様の環境にあったカスタマイズを行い、動作確認を行ってください。
- お客様の環境によっては、スクリプト内で実行されているコマンドのパスが通っていないため、ジョブが異常終了することがあります。その場合、ジョブ実行時に環境変数PATHに必要なパスが含まれるよう設定する必要があります。環境変数PATHの設定方法については「JobCenter 環境構築ガイド」の「13. ジョブ実行時の環境変数の取り扱い」を参照して下さい。

3.1 ユーティリティ・テンプレート

3.2 ERP連携テンプレート

3.3 PP連携テンプレート

3.4 ジョブネットワーク・サンプル・テンプレート

3.5 スケジュール・サンプル・テンプレート

3.1. ユーティリティ・テンプレート

サーバのユーティリティとして利用できるジョブネットワークのテンプレートについて説明します。

3.1.1 Windowsサーバ停止

3.1.1.1 Windowsサーバ停止

■ジョブネットワーク名

Windowsサーバ停止

■説明

Windows XP以上に標準添付されているshutdownコマンドを使用してサーバを停止するジョブを実行するジョブネットワークです。詳細はWindowsヘルプのshutdownコマンドの項目を参照ください。

■使用方法

単位ジョブ“shutdown”のスクリプト内の環境変数HOSTNAME、WAITTIMEをお客様の環境にあった値に設定してください。



本テンプレートはWindows版専用です。

3.2. ERP連携テンプレート

ERP連携を行うためのジョブネットワークのテンプレートについて説明します。

3.2.1 SAP ERP

3.2.2 SAP BI

3.2.3 EXPLANNER/A

3.2.1. SAP ERP

■ジョブネットワーク名

SAP ERPのジョブネットワーク名は以下の表の通りです。

表3.1 SAP ERPのテンプレート一覧

グループ名	ジョブネットワーク名
EveryDay	JNW-RSPO1043
	JNW-RSTS0024
	JNW-SAP_COLLECTOR_FOR_JOBSTATISTIC
	JNW-SAP_REORG_ABAPDUMPS
	JNW-SAP_REORG_BATCHINPUT
	JNW-SAP_REORG_JOBS
	JNW-SAP_REORG_SPOOL
EveryHour	JNW-SAP_COLLECTOR_FOR_NONE_R3_STAT
	JNW-SAP_COLLECTOR_FOR_PERFMONITOR
	JNW-SAP_COMS_MONI_BATCH_DP
EveryMonth	JNW-SAP_REORG_JOBSTATISTIC
	JNW-SAP_REORG_PRIPARAMS
EveryWeek	JNW-SAP_REORG_XMILOG

■説明

SAP ERPシステム上で実行される標準ジョブをJobCenterから起動するためのジョブネットワークです。スケジュールの違いによって、グループ分けされています。

起動されるジョブの詳細については、SAPジョブ・スクリプト内のABAPプログラム名とSAPのドキュメントを参照して下さい。

■使用方法

ERPジョブのパラメータおよびERPジョブ・スクリプト内のバリエーション名をお客様のERPシステムに合った値に設定してください。



注意事項

- 本テンプレートの使用の前にSAP ERPシステムの構築が完了している必要があります。
- 本テンプレートの使用の前にJobCenter SAP ERPオプションの設定が完了している必要があります。ERPオプションの設定については、JobCenterマニュアル「SAP機能利用の手引き」を参照して下さい。

3.2.2. SAP BI

■ジョブネットワーク名

JNW-BW_SAMPLE

■説明

SAP BIとジョブ連携を行うジョブネットワークのサンプルです。

■使用方法

BIジョブのパラメータをお客様のBIシステムに合った値に設定してください。



注意事項

- 本テンプレートの使用の前にSAP BIシステムの構築が完了している必要があります。
- 本テンプレートの使用の前にJobCenter SAP BIオプションの設定が完了している必要があります。BIオプションの設定については、JobCenterマニュアル「SAP機能利用の手引き」を参照して下さい。

3.2.3. EXPLANNER/A

■ジョブネットワーク名

EXPLANNER/Aのジョブネットワーク名は以下の表の通りです。

表3.2 EXPLANNER/Aのテンプレート一覧

グループ名	ジョブネットワーク名
共有システム	バックアップ自動実行
	バッチ実行環境確認
販売管理	仕訳データ生成自動実行
	保存データ圧縮自動実行
	外部連携セット品移動取込自動実行
	外部連携仕入取込自動実行
	外部連携入出庫取込自動実行
	外部連携入金取込自動実行
	外部連携受注取込自動実行
	外部連携売上取込自動実行
外部連携支払取込自動実行	

	外部連携発注取込自動実行 外部連携移動取込自動実行 日次更新自動実行
債務管理	他システム支払予定生成実行 財務支払予定生成実行
財務管理	入金自動仕訳生成実行 外部連携仕訳データ取込 (CSV) 実行 外部連携仕訳データ取込 (DB) 実行 手形自動仕訳生成実行 支払自動仕訳生成実行 日次更新実行 本支店振替伝票分解実行 給与自動仕訳取込生成実行 販売入金自動仕訳生成実行 販売支払自動仕訳生成実行 販売自動仕訳取込生成実行
債権管理	外部連携債権外部自動実行 外部連携債権財務自動実行 財務回収予定生成自動実行

■説明

ERPパッケージソフトウェアEXPLANNER/Aのバッチ実行機能をJobCenterで実行するジョブネットワークのサンプルです。業務内容によって、グループ化されています。

EXPLANNER/Aのバッチ実行機能の詳細については、製品付属の「EXPLANNER/A バッチ実行マニュアル」をご参照ください。

■使用方法

本テンプレートを実際の業務に使用される場合は、EXPLANNER/Aのテンプレートのジョブ・スクリプトに記載されているEXPLANNER/Aのコマンド引数を、お客様の環境に合わせてカスタマイズする必要があります。各スクリプトに与える引数につきましては、「EXPLANNER/A バッチ実行マニュアル」の「補足A. スクリプトリファレンス」を参照して下さい。



注意事項

- 本テンプレートはWindows版専用です。
- 本テンプレートの使用の前にEXPLANNER/Aシステムの構築が完了している必要があります。
- お客様の環境によっては、EXPLANNER/AやOracleのコマンド/DLLへのパスが通っていないため、その旨を警告するエラーが表示されることがあります。その場

合、適切なパスを環境変数PATHに追加する必要があります。環境変数PATHの設定方法については「JobCenter 環境構築ガイド」の「13. ジョブ実行時の環境変数の取り扱い」を参照して下さい。

3.3. PP連携テンプレート

PP連携を行うためのジョブネットワークのテンプレートについて説明します。

3.3.1 HULFT

3.3.1.1. HULFT

ファイル転送ソフトウェアHULFT for Windowsのファイル集配信コマンドをJobCenterのジョブとして実行することにより、ファイル集配信と連携したジョブの実行制御を行うジョブネットワークのサンプルです。

3.3.1.1.1. ファイル集信

■ジョブネットワーク名

ファイル集信

■説明

ファイル集信コマンドを実行し、集信完了を確認後、後続の処理を起動するジョブネットワークのサンプルです。ファイル集信コマンドが異常終了した場合、ダイアログ部品でフローの処理を停止し、その間、エラーの原因を調査・解決することができるフローとなっています。

■使用方法

単位ジョブ“ファイル集信要求”の環境変数HULFT_PATH, FILEID, HOSTNAMEをお客様の環境に合わせて正しく設定してください。

また、単位ジョブ“集信後処理起動”の環境変数JNW_NAMEに任意のJNW名を設定することで、ファイル集信終了後、希望するジョブネットワークを起動することが可能です。



注意事項

- 本テンプレートはWindows版専用です。
- 事前にHULFT for Windowsのセットアップを完了している必要があります。ファイル集配信処理に必要な設定（配信管理情報、集信管理情報、転送グループ）の設定が行われている必要があります。
- 集配信コマンドの使用法の詳細については、HULFT for Windowsのマニュアル「コマンドリファレンス」を参照して下さい。

3.3.1.2. ファイル配信

■ジョブネットワーク名

ファイル配信

■説明

ファイル配信コマンドを実行し、配信完了を確認後、後続の処理を起動するジョブネットワークのサンプルです。ファイル配信コマンドが異常終了した場合、ダイアログ部品でフローの処理を停止し、その間、エラーの原因を調査・解決することができるフローとなっています。

■使用方法

単位ジョブ“ファイル配信要求”の環境変数HULFT_PATH, FILEIDをお客様の環境に合わせて正しく設定してください。

また、単位ジョブ“配信後処理起動”の環境変数JNW_NAMEに任意のJNW名を設定することで、ファイル集信終了後、希望するジョブネットワークを起動することが可能です。



注意事項

- 本テンプレートはWindows版専用です。
- 事前にHULFT for Windowsのセットアップを完了している必要があります。ファイル集配信処理に必要な設定（配信管理情報、集信管理情報、転送グループ）の設定が行われている必要があります。
- 集配信コマンドの使用法の詳細については、HULFT for Windowsのマニュアル「コマンドリファレンス」を参照して下さい。

3.3.1.3. ファイル集配信連携

■ジョブネットワーク名

ファイル集配信連携

■説明

ファイル集信テンプレートおよびファイル配信テンプレートを組み合わせたテンプレートです。

ファイル集信→集信したファイルを使用する処理を実行→作成されたファイルを配信→集信・配信対照のファイルを削除→以上の処理を繰り返す

上記のような業務を構築する場合のテンプレートとなるジョブネットワークです。

■使用方法

単位ジョブはすべて空ジョブですので、お客さまの業務に応じた処理を記述してください。

また、ジョブネットワーク“ファイル集信”、“ファイル配信”を事前にカスタマイズ→テストすることが必要です。



注意事項

- 本テンプレートはWindows版専用です。
- 事前にHULFT for Windowsのセットアップを完了している必要があります。ファイル集配信処理に必要な設定（配信管理情報、集信管理情報、転送グループ）の設定が行われていることが必要です。
- 集配信コマンドの使用法の詳細については、HULFT for Windowsのマニュアル「コマンドリファレンス」を参照して下さい。

3.4. ジョブネットワーク・サンプル・テンプレート

JobCenterが提供している各種機能を理解するためのジョブネットワークのテンプレートについて説明します。

3.4.1 ジョブネットワーク起動

3.4.2 ファイル転送トリガ

3.4.3 ディレクトリ監視/フォルダ監視

3.4.4 変数継承機能

3.4.5 エラーリカバリ/エラーリカバリ_多分岐

3.4.6 カレンダ分岐

3.4.7 デーモン起動/サービス起動

3.4.1. ジョブネットワーク起動

■ジョブネットワーク名

ジョブネットワーク起動forUNIX

ジョブネットワーク起動forWindows

■説明

JobCenterのjnwsuubmitcmdを使用して、ジョブネットワークの随時起動を行うためのジョブネットワークのサンプルです。

■使用方法

環境変数JC_PATHにWindows版JobCenterのインストールパスを設定してください。また、環境変数JNW_NAMEを設定して、起動対象ジョブネットワーク名を指定してください。

3.4.2. ファイル転送トリガ

■ジョブネットワーク名

ファイル転送トリガforUNIX

ファイル転送トリガforWindows

■説明

JobCenterのファイル待ち合せ部品とコンティニュー部品を使用して、ファイル作成をトリガとしてジョブネットワークを起動するジョブネットワークのサンプルです。後続処理実行後は、フラグファイルを削除して、再び待ち合わせを行うフローとなっています。

■使用方法

ファイル待ち合わせ部品の待ち合わせ対象ファイル名を、絶対パス名で正しく指定します。単位ジョブ“フラグファイル削除”のスクリプトを編集し、左記ファイルを削除するよう設定します。単位ジョブ“ジョブネットワーク起動”の環境変数JNW_NAMEを正しく設定してください。また、コンティニュー部品のパラメータをお客さまの業務に応じて変更してください。



大きなファイルのFTP 転送の完了を待ち合わせる場合は、目的のファイルの転送が終わった後でほかの小さなファイルを 1つ合図のために転送し、そのフラグファイルを待ち合わせ部品で待ち合わせる必要があります。

3.4.3. ディレクトリ監視／フォルダ監視

■ジョブネットワーク名

ディレクトリ監視

フォルダ監視

■説明

JobCenterのジョブネットワーク部品であるファイル待ち合わせ部品を使用して、UNIXのディレクトリ／Windowsのフォルダを監視し、当該フォルダ配下のファイル作成／削除／更新をトリガとして、ある随時ジョブネットワークを起動する処理を行うジョブネットワークのサンプルです。

■使用方法

ファイル待ち合わせ部品の待ち合わせ対象の「ファイル名」として、任意のUNIXディレクトリ／Windowsフォルダ名を絶対パスで指定してください。



ファイル待ち合わせ部品の監視対象は、MGマシン上のファイル／ディレクトリ／フォルダです。リモートマシン上のものを監視することはできません。

3.4.4. 変数継承機能

■ジョブネットワーク名

変数継承機能forUNIX

変数継承機能forWindows

■説明

ある単位ジョブで設定された環境変数を次の単位ジョブに引き継ぐ機能である、変数継承機能の使用サンプルです。

■使用方法

変数継承機能を使用されるための設定が既に行われています。デフォルトでは単位ジョブ“先行処理”内の環境変数PARAM_1,PARAM_2,PARAM_3を、後続の環境変数“後続処理”上で参照する構成になっています。

3.4.5. エラーリカバリ／エラーリカバリ_多分岐

■ジョブネットワーク名

エラーリカバリ

エラーリカバリ_多分岐

■説明

ジョブネットワーク部品の条件分岐部品を使用して、先行ジョブの実行結果によって、その後の処理を分岐させるジョブネットワークのサンプルです。

■使用方法

各単位ジョブのスクリプトはexitコマンドを実行する処理のみが記述されています。お客様の業務に合わせてカスタマイズしてください。

3.4.6. カレンダー分岐

■ジョブネットワーク名

カレンダー分岐

■説明

カレンダー分岐部品を使用して、関連付けられたスケジュールを基にして、ジョブ実行日の日付によって、その後の処理を分岐させるジョブネットワークのサンプルです。

■使用方法

各単位ジョブのスク립トはexitコマンドを実行する処理のみが記述されています。お客様の業務に合わせてカスタマイズしてください。また各カレンダー分岐部品を任意のスケジュールと関連付け直すことによって、よりお客様の業務に合った処理を実現することが可能です。

3.4.7. デーモン起動／サービス起動

■ジョブネットワーク名

デーモン起動

サービス起動

■説明

JobCenterから起動されたジョブとして起動されたプロセスはその子プロセスを含め、ジョブ実行終了後、JobCenterにより強制的に終了させられます。そのため、JobCenterから常駐型のプロセスを起動するジョブを実行しても、当該ジョブが終了した時点でJobCenterよりシグナルが送信され、停止させられてしまいます。

よって、JobCenterからデーモン(サービス)を起動する場合は、JobCenterのnqsbgコマンド(Windowsのstartコマンド)を使用して、プロセスグループを変更し、JobCenterからのシグナルを回避する必要があります。このテンプレートはそのサンプルです。

■使用方法

単位ジョブ“デーモン起動” or “サービス起動”の環境変数PROGRAM_NAMEに起動したいデーモン／サービスを設定してください。

3.5. スケジュール・サンプル・テンプレート

■スケジュール名

月次(月初)

月次(月末)

週次(週初)

週次(週末)

日次

毎月第三月曜日

毎月最終月曜日

毎月第三営業日

■説明

お客様の業務上組み込まれることの多いスケジュールのサンプルです。

表3.3 スケジュールサンプルの一覧

スケジュール名	内 容
月次(月初)	毎月第一営業日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
月次(月末)	毎月最終営業日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
週次(週初)	毎週第一営業日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
週次(週末)	毎週最終営業日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
日次	毎日定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
毎月第三月曜日	毎月第三月曜日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
毎月最終月曜日	毎月最後の月曜の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。
毎月第三営業日	毎月第三月曜日の定刻にジョブ実行を行うためのスケジュールです。

■使用方法

各スケジュールの開始時刻を実際の運用に合った値に変更してください。（デフォルトでは00:00になっています）その後、各スケジュールを適切なジョブネットワークと関連付けてください。

また、お客様の業務に合ったカレンダーを別途作成し、上記スケジュールと関連付けることにより、より便利なスケジュールを構築することが可能です。（デフォルトでは「2.3 Japanカレンダーのインポート」でインポートされたJapanカレンダーと関連付けられています）

